

地方創生バイオマスサミット開催要項

～地方創生とバイオマス資源循環型社会への新たな取り組み～

1. 日時 2018年7月5日(木) 10時00分～20時00分
2. 場所 イイノホール(東京都千代田区内幸町飯野ビルディング)
3. 主催 地方創生バイオマスサミット実行委員会
4. 共催 一般社団法人 日本木質バイオマスエネルギー協会(JWBA)
一般社団法人 日本木質ペレット協会(JPA)
公益財団法人 国土緑化推進機構
公益財団法人 自然エネルギー財団
5. 協賛 本サミットに賛同する民間企業及び業界団体
6. 後援 内閣府、環境省、農林水産省、林野庁、総務省、経済産業省、国土交通省
(申請中) 全国市長会、全国町村会
7. 次第

【午前のプログラム】10:00～12:30

○開会にあたって 実行委員会

- ・サミット開催の趣旨と実行委員会の構成、サミットプログラムの説明

○基調講演 増田寛也 氏(第8-9代総務大臣、内閣府特命担当大臣)

- ・地方創生と森林・林業・バイオマスエネルギーの今後の方向付け

◇第1部：パネルディスカッション

司会 熊崎 実 氏(元 JWBA 会長、元 JPA 会長、筑波大学名誉教授)

テーマ：将来に向けての課題と展望

★話題提供者とテーマ

- ・ラウパツハ スミヤヨーク 立命館大学経営学部教授
「バイオマス利用から始める地域のエネルギー転換：地域への経済効果」
- ・三浦 秀一 東北芸術工科大学教授
「オーストリアにおける農村型地域熱供給システムの展開と日本への導入」
- ・尾崎 正直 高知県知事
「高知県における林業政策と森林資源の循環への取り組み」
- ・増田 寛也 第8-9代総務大臣、内閣府特命担当大臣

【午後のプログラム】 13:30～17:30

◇第2部：代表地域モデル&代表企業モデルの事例発表

司会 相川高信 氏(公益財団法人自然エネルギー財団上級研究員)

テーマ：先進的・先導的地域の現状と課題解決への方向付け (5モデル地域)

★モデル発表地域とテーマ

(1) 北海道 下川町

「持続可能な循環型森林経営：木質バイオマスエネルギーと環境をつないだ地域づくり」

(2) 山形県 最上町

「木質バイオマス利用の段階的発展：若者定住環境モデルタウンへ」

(3) 高知県 梶原町

「自然との共生を目指して：産官学連携による森林資源の地域循環への取り組み」

(4) 熊本県 南関町

「竹資源の活用による付加価値創造：マテリアルとエネルギーの同時利用」

(5) 島根県 津和野町

「航空レーザ計測による森林資源解析と森林計画への応用」

テーマ：地域活性化とバイオマスエネルギービジネスの取り組み (6モデル企業)

★モデル発表企業とテーマ

(1) バイオエナジー・リサーチ&インベストメント株式会社

「欧州に学ぶ木質バイオマスのエンジニアリング」

(2) もりもりバイオマス株式会社

「木質バイオマス地域熱供給事業のビジネス化への挑戦」

(3) 株式会社 リコー

「木質バイオマスの熱利用によるエネルギーの地産地消モデル：水平展開に向けて」

(4) 一般社団法人 徳島地域エネルギー

「地域アライアンスモデルによる木質バイオマス熱利用の実現」

(5) 自然エネルギー研究センター 株式会社 NERC

「自然エネルギーが生み出す地域の雇用」

(6) 日本アジアグループ株式会社

「空間情報技術を活用した森林活性化事業」

○全体総括とサミット宣言

【懇親会】 18:00～20:00

8. 参加費 サミット参加費：無料

懇親会参加費：6,000円/人